

福岡市子ども読書活動推進計画（第3次）進捗状況一覧

<<基本目標>>  
 (1)いつでもどこでも自分から読書に親しめる環境づくり  
 (2)大人も子どもも読書に親しめる機会づくり  
 (3)子どもの読書活動を支える人材づくり  
 (4)発達段階に応じた子どもと本とメディアのよい関係づくり  
 (5)市民全体として子どもの読書活動を支えるしくみづくり

⑤計画目標達成度  
 1 順調  
 2 おおむね順調  
 3 やや遅れている  
 4 遅れている

1. 家庭・地域を中心にした読書活動の推進

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④平成30年度実施状況及び実績等	⑤令和元年度の具体的取組内容	⑥計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑦備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課							
地域における読書活動の支援（重点）	1 地域における読書ボランティアの活動支援 《新規》	委教育会	学生習涯課	(3) (5)	学校や公民館等と地域におけるボランティアとの連携を図り、読書ボランティアの活動の場を広げる。	「読書活動ボランティア交流会」ボランティアの希望者と、公民館等のボランティアニーズのマッチングを行う。	H30.8.21 読書活動ボランティアをつなぐ交流会開催。 あひれふ8F視聴覚室 36人参加	引き続き、読書活動ボランティアをつなぐ交流会を実施。 (9月3日あすみんセミナールーム)	1 順調	
	2 公民館における子どもの読書活動の推進	委教育会	学生習涯課	(1) (5)	地域における読書活動を支援するために公民館の読書活動を支援する。	スタンバード文庫の活用状況を把握し、より一層スタンバード文庫の活用を図るために読み聞かせ講座等を実施し、公民館の読書活動を支援する。	スタンバード文庫読み聞かせ講座を実施。 実施希望の14公民館で実施。201人参加	引き続き、スタンバード文庫読み聞かせ講座を実施。 実施希望公民館（16館程度）を選定中。	1 順調	
	3 子ども読書の情報発信 《新規》	委教育会	学生習涯課	(1) (2)	子どもが読書に親しむ環境づくりを推進するとともに、文庫活動や読み聞かせサークルへの支援に努める。	「公民館における子どもの読書活動の推進と支援」子どもから大人まで、市民が気軽に公民館へ立ち寄り、読書に親しむ機会を提供するとともに、図書館の団体貸出の活用や、質の高い図書を読み聞かせ活動への支援を促進する。	公民館では、総合図書館やスタンバード文庫、福岡市が事業者（TSUTAYA）と共同事業として実施しているミニ図書館事業等を利用した一般貸出を実施している。また、公民館は、地域団体の文庫活動に対し、公民館の本の活用、ボランティアの発掘につなげる事業の開催などで支援を行ったり、団体とともに読み聞かせなどの事業を行ったりしている。 市内公民館全館の年間合計文庫活動2,816回、延べ利用人数43,751人 図書の貸出回数19,576回、延べ利用人数39,330人	子どもが読書に親しむ環境づくりを推進するとともに、文庫活動や読み聞かせサークルへの支援に努める。	1 順調	
乳幼児期から大人と一緒に本と触れ合う機会づくりの推進	4 ブックススタート事業の推進	未こども局	支発こども課	(2)	絵本を通して、親子が相互に語りかけることの大切さ、楽しさ等を伝える。	「ブックススタート事業」4か月児健診時に絵本の配付、ボランティアによる絵本の読み聞かせ等を実施する。（平成16年8月開始）	4か月児健診時に絵本の配布、ボランティアによる絵本の読み聞かせ等を実施している。	引き続き、4か月児健診時に絵本の配布、ボランティアによる絵本の読み聞かせ等を実施する。	2 おおむね順調	
	5 保護者への読み聞かせの重要性についての啓発	こども未来局	指導監査課	(4)	・家庭における読み聞かせが習慣となる。 ・「福岡市子どもと本の日」の取り組みが、保護者に広く認知され読み聞かせが意識づけられる。 ・読み聞かせ等を通して親子の絆を深め、親子とも情緒の安定を図る。	・保護者会やクラス懇談会、育児講座等で、各年齢に応じた絵本の取り組みや家庭における読み聞かせの重要性について保護者啓発を行い、読み聞かせの楽しさや大切さを伝え、家庭における読み聞かせを推進する。 ・「絵本の日」や「読み聞かせ会」等の開催、絵本貸出しの充実を図る。	・懇談会や家庭訪問、保育参観、研修会、おたより等で絵本の読み聞かせの大切さを伝えた。 ・毎月1回程度、23日のノーメディアデー等に絵本の読み聞かせ会を開催した。また、ポスター等を作成し、参加の呼びかけを行った。 ・貸出絵本 適宜実施 ・絵本コーナーは月ごとに装飾し、温かい雰囲気づくりをした。また、定期的に入れ替えを行い、内容を充実させるとともに、絵本に興味を持てるような環境を整えた。 ・保育所での毎日の絵本の読み聞かせしたり、保育室等に読み聞かせを行った絵本を展示した。 ・公民館の育児サークル、子どもプラザの育児講座、子育て応援イベント等で、絵本の紹介や読み聞かせを行った。	※昨年度と同様の取り組みを実施予定。 ・懇談会や家庭訪問、保育参観、研修会、おたより等で絵本の読み聞かせの大切さを伝える。 ・ノーメディアデー 毎月23日実施予定。 ・それに合わせて毎月1回程度親子への読み聞かせ会を開催予定。 また、ポスター等において参加の呼びかけを行い、開催後報告を掲示して参加できない保護者にも関心を持ってもらえるようにする。 ・貸出絵本 適宜実施 ・絵本コーナーは月ごとに装飾し、温かい雰囲気づくりを心掛ける。また、定期的に入れ替えを行い、内容を充実させるとともに、絵本に興味を持てるような環境を整える。 ・日々の保育等で絵本の読み聞かせをし、読んだ絵本を保育室等に展示する。 ・公民館の育児サークル、子どもプラザの育児講座、子育て応援イベント等における絵本の紹介や読み聞かせを実施予定。	2 おおむね順調	
	6 保育所・障がい児通所支援施設等の日常保育の中での読み聞かせの充実	こども未来局	指導監査課	(1)	・子どもの絵本への興味・関心を高める。 ・日常の読み聞かせを通して、絵本に親しみ、子どもの情緒の安定を図るとともに豊かな感性を育む。	・発達段階や興味、活動、季節に応じた絵本の選定や環境作りを行い、子どもが興味や関心を持って見られるようにする。	・毎月1回、親子での絵本の読み聞かせを行った。また、その中で保護者がわが子を膝にのせて参加してもらおう機会を取り入れた。 ・各保育室や玄関等で読んだ絵本やおすすめの絵本を適宜展示するなどして紹介した。 ・子どもの発達や興味に合わせた絵本、季節や行事に関連した絵本を毎日の保育の中で行うとともに、計画的な絵本の購入、入れ替え等を行って環境を整えた。 ・子どもが好きな絵本をいつでも取れるように環境設定した。	※昨年度と同様の取り組みを実施予定。 ・毎月1回、親子での絵本の読み聞かせ会を実施。また、その中で保護者がわが子を膝にのせて参加してもらおう機会を作る。 ・各保育室や玄関等で読んだ絵本やおすすめの絵本を適宜展示。 ・子どもの発達や興味に合わせた絵本、季節や行事に関連した絵本を毎日の保育の中で行うとともに、計画的な絵本の購入、入れ替え等を行って環境を整える。 ・子どもが好きな絵本をいつでもとれるような環境設定をする。 ・職員自身が読み聞かせの良さを学ぶ機会を作る。	2 おおむね順調	
			(2)	子ども及び保護者に対して、読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、本の世界に親しめるように環境を整える。	「療育の中での読み聞かせの推進」 ・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整える。 ・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行う。	「療育の中での読み聞かせの推進」 ・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整えている。 ・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行っている。	「療育の中での読み聞かせの推進」 ・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整えている。 ・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行っている。	2 おおむね順調		

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④平成30年度実施状況及び実績等	⑤令和元年度の具体的取組内容	⑥計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑦備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課							
推乳幼児期から大人と一緒に本と触れ合う機会づくりの推進	7 家庭における読み聞かせの推進	こども未来局	指導監査課	(4)	※5「保護者への読み聞かせの重要性についての啓発」に同じ ・家庭における読み聞かせが習慣となる。 ・「福岡市こどもと本の日」の取り組みが、保護者に広く認知されて読み聞かせが意識づけられる。 ・読み聞かせ等を通して親子の絆を深め、親子とも情緒の安定を図る。	※5「保護者への読み聞かせの重要性についての啓発」に同じ ・保護者会やクラス懇談会、育児講座等で、各年齢に応じた絵本の取り組みや家庭における読み聞かせの重要性について保護者啓発を行い、読み聞かせの楽しさや大切さを伝える。 ・「絵本の日」や「読み聞かせ会」等の開催、絵本貸出しの充実を図る。 ・絵本への興味や関心が高まるような環境設定を行う。	・家庭訪問、保育参観、懇談会、合同研修会で絵本の楽しさを伝えるとともに、職員研修グループが親子参加の研修で絵本の読み聞かせを行い、読み聞かせの大切さについて保護者に啓発を行った。 ・絵本コーナーに季節の飾りやテーブル、ベンチを置き、本を手に取って楽しめる環境を整える。 ・おすすめの絵本を掲示したり、あらすじを簡単に紹介して、保護者に絵本の内容を具体的に伝えた。 ・福岡市総合図書館の絵本の団体貸し出しを利用し、保護者が中心となり、貸出絵本を行った。	※昨年度と同様の取り組みを実施。 ・家庭訪問、保育参観、懇談会、合同研修会で絵本の楽しさを伝えるとともに、職員研修グループが親子参加の研修で絵本の読み聞かせを行い、読み聞かせの大切さについて保護者に啓発を行う。 ・絵本コーナーに季節の飾りやテーブル、ベンチを置き、本を手に取って楽しめる環境を整える。 ・おすすめの絵本を掲示したり、あらすじを簡単に紹介して、保護者に絵本の内容を具体的に伝える。 ・福岡市総合図書館の絵本の団体貸し出しを利用し、保護者が中心となり、貸出を行う。 ・月刊絵本や貸出絵本を家庭に持ち帰ることで、保護者と子どもが読み聞かせを通して、その楽しさを共有できるようにする。	2	おおむね順調
			教育委員会	生涯学習課	(1) (5)	PTAと連携して講座や研修会を実施し、家庭でも子どもが身近に本に親しむ環境づくりを支援する。	福岡市PTA協議会と共催し、家庭での読み聞かせの重要性や楽しさを学ぶ講座を実施する。	家庭での読み聞かせの重要性や楽しさを伝えるために、福岡市PTA協議会と共催し、小中学生の保護者を対象に家庭で楽しむ読み聞かせ講座を実施。 H30.10～11月計4回、146名参加	引き続き、福岡市PTA協議会と共催で、小中学生の保護者を対象に家庭で楽しむ読み聞かせ講座を10～11月に計4回実施予定。	1
あらゆる場と機会をとらえた子ども読書活動の推進	8 子どもプラザにおける子どもの読書活動の推進	こども未来局	事業企画課	(1)	全子どもプラザでの取り組みの実施	乳幼児と保護者がいつでも気軽に利用でき、子育てに関する相談や情報交換ができる子育て支援の拠点として設置する子どもプラザにおいて、利用者のニーズに応え、絵本の読み聞かせなどを実施し、子どもと本の出会いを支援する。	各子どもプラザの実情に応じ、下記のような取り組みを行った。 (1)スタッフ又はボランティアによる絵本の読み聞かせ ・読み聞かせを定期的実施している子どもプラザ 平均 月2回(約20組参加) ・読み聞かせを不定期に実施している子どもプラザ 少人数を対象に随時実施 (2)絵本の貸し出し(城南区子どもプラザのみ)	引き続き、各子どもプラザで絵本の読み聞かせ等を実施する。また、各子どもプラザの状況に応じて図書を購入し、より一層の環境充実に努める。	1	順調
	9 中央児童会館(あいくる)における子どもの読書活動の推進	こども未来局	青少年健全育成課	(1)	子どもが本にふれあう機会を増やし、保護者への啓発を推進する。	図書の閲覧及び貸出、絵本の読み聞かせプログラムを実施する。	前年度に引き続き、 ・図書の閲覧貸出を行った。 ・火～金に実施している子育て支援事業の中で読み聞かせを実施。 ・館外活動の中で読み聞かせを実施。 ・季節の行事の中で読み聞かせ(クリスマス、ひなまつり、まめまき)を実施。 ・読み聞かせボランティアの積極的受入。 ・子どもプラザ内での読み聞かせの実施。	前年度に引き続き、 ・図書の閲覧貸出を行うとともに、絵本の読み聞かせプログラムの充実をはかった。 ・公民館における「出前事業」でも読み聞かせを実施。 ・大幅に図書の整理、修復を実施済。今後も継続して実施する。	1	順調
	10 背振少年自然の家における子どもの読書活動の推進	こども未来局	青少年健全育成課	(1)	自然科学等を中心に子ども向け図書を収集、図書コーナーを設置し、子どもがいつでも本に親しむことのできる環境を作る。	ラウンジに設置している図書コーナーにおいて、休憩時間など自由に本に親しめる場所を提供していく。 ・図書資料の充実、更新 ・分野別に分類、整理	現在の図書資料の充実・整理を実施するとともに、新しい図書を購入し、子どもたちが本を楽しめる環境づくりに取り組んだ。	前年度に引き続き、ラウンジに設置している図書コーナーにおいて、休憩時間など自由に本に親しめる場所を提供する。 ・図書資料の充実、更新 →新たに、福岡市総合図書館より、図書を400冊借り 現在の図書との入替を行った。 ・分野別に分類、整理 ・植物・花の写真および動物の標本(蛇)を展示。 ・地域の情報、冊子を展示。	2	おおむね順調
	11 海の中道青少年海の家における子どもの読書活動の推進	こども未来局	青少年健全育成課	(1)	子ども向け図書を収集し、施設利用の際に貸出を進め、子どもだけでなく親子で本に親しむことのできる環境を作る。	海の中道青少年海の家において、施設の特徴を生かした子ども向け図書の収集を進め、子どもの読書活動を推進していく。 ・市民総合図書館から定期的に海の自然に関する図書の配本を受け利用促進を図る ・本に関する情報を提供する ・本の楽しさを伝える	・本に合った自然をテーマに、施設周辺の植物展示を行い、本や自然に興味を持つ環境づくりに取り組んだ。 ・レイアウトの変更を行い、落ち着いて読書ができる環境づくりを行った。	前年度に引き続き、海の中道青少年海の家において、施設の特徴を生かした子ども向け図書の収集を進め、子どもの読書活動を推進する。 ・市民総合図書館から定期的に海の自然に関する図書の配本を受け利用促進を図る ・本に関する情報を提供する ・本の楽しさを伝える ・植物のほかに貝殻や敷地内に生息するセミの標本などの展示による、子どもたちの興味を引き出させる環境づくり	2	おおむね順調
12 障がい児通所支援施設等での読書活動の推進	こども未来局	こども発達支援課	(2)	※6「保育所・障がい児通所施設等の日常保育の中での読み聞かせの充実」に同じ  子ども及び保護者に対して、読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、本の世界に親しめるように環境を整える。	※6「保育所・障がい児通所施設等の日常保育の中での読み聞かせの充実」に同じ  ・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整える。 ・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行う。	「療育の中での読み聞かせの推進」 ・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整えている。 ・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行っている。	「療育の中での読み聞かせの推進」 ・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整えている。 ・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行っている。	2	おおむね順調	

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④平成30年度実施状況及び実績等	⑤令和元年度の具体的取組内容	⑥計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑦備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課							
あらゆる場と機会をとらえた子ども読書活動の推進	13 その他の施設における子ども読書活動の推進（美術館）	経済観光文化局	学芸課（美術館運営部）	(1) (2)	美術に関する子ども向けの図書の収集・展示を通して、子どもたちが本に親しみ、本を読む楽しみを見出す環境と作る。	・美術館という特色を生かし、美術、特に所蔵作家に関連する子供向けの図書の収集に努め、子どもの読書活動を支援する。 ・キッズスペースに利用者年齢に応じた絵本・図書を配架し、親子で図書に親しめるよう環境を整える。 ・子ども向け展覧会「夏休み子ども美術館」の会場にて、展示作品や展示テーマに応じた図書を紹介することで、より深い読書への興味を促す機会とする。	・新しくできたキッズスペースに配架するための絵本等を購入。	・キッズスペースに、年齢に応じて選択できる美術関連の絵本図書を配架。 ・子ども向け展覧会「夏休み子ども美術館2019 美術のひみつ～昔の美術編」にて、展示作品や展示テーマに応じた図書を紹介	2	夏休み子ども美術館については、これからの規格であるが、キッズスペースには配架が終わり、多くの親子が配架図書を利用している。
	13 その他の施設における子ども読書活動の推進（アジア美術館）	経済観光文化局	学芸課（アジア美術館）	(1) (3)	アジアの絵本や図書の収集・展示、またボランティアによる読み聞かせを通じて、子どもが本に親しむことのできる環境を作る。	・キッズコーナーに、常時アジアの絵本・図書を配架し、子どもの読書活動を支援していく。 ・年間を通じて、当館ボランティアによる月8回の「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」を実施し、子どもが本に親しむ場をつくるだけでなく、子どもの読書を促す人材を育成していく。	・キッズコーナーに、アジアの絵本・図書を800冊程度、配架している。 ・当館ボランティア25名により、「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」を112回開催し、子どもと大人合わせて延べ1469人の参加があった。	・引き続き、キッズコーナーに、アジアの絵本・図書を800冊程度、配架し、年に4回程度、絵本の特集展示をおこなう。 ・当館の読み聞かせボランティア25名により、「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」を月8回以上実施する。	2	読み聞かせボランティアの追加募集をおこない、年度内に活動を開始する予定。
13 その他の施設における子ども読書活動の推進（博物館）	経済観光文化局	運営課（博物館事業管理部）	(1)	展示に関する子ども向け図書の収集・閲覧を通じて子どもが本に親しむことのできる環境を作る。	・博物館の特徴を生かし、歴史・民俗・考古・美術に関する子ども向け図書の収集に努め、子どもの読書活動を支援していく。 ・展示に関するコーナーを準備し、子どもが本を手に取りやすい環境を整える。 ・毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心に行う「本と出会うミュージアム」で本を紹介することによって、新しい知識を得たいという意欲へ繋げる。	・美術や歴史に関する子ども向けの図書を受け入れた。 ・各特別展示の関連図書として子どもが手に取りやすい図書を配架し、手に取りやすい環境を整えた。	・歴史・民俗・考古・美術に関する子ども向け図書収集に努める。 ・読書室内に、展示に関連する図書の特設コーナーを設ける等、展示内容に興味を持った子どもが参考となる本を見つけやすい環境を整える。	2	子ども向け図書の新規収集冊数は少ないが、特設コーナー設置等の工夫により、継続して子どもが本を手に取りやすい環境づくりに努めている。	
13 その他の施設における子ども読書活動の推進（市民福祉プラザ）	保健福祉局	地域福祉課	(1)	福祉分野に関する子ども向け図書の収集、貸出を進める。	子ども向け福祉図書の収集、ホームページでの図書の紹介等を行う。	・広報誌ふくふくプラザだよりでの児童図書の紹介（H31.3月実施） ・ホームページでの児童図書の情報発信（H30.8月実施） ・学校などでの福祉教育に役立つ資料（DVD含む）の収集、かつ、「福祉教育お役立ちブック」（学校へ配布）の中にて紹介（H30.6月実施）	・広報誌ふくふくプラザだよりでの児童図書の紹介（R1.8月号実施予定） ・ホームページでの児童図書の情報発信（R1.8月実施予定） ・学校などでの福祉教育に役立つ資料（DVD含む）の収集（随時実施）	2	おおむね順調	
13 その他の施設における子ども読書活動の推進（人権のまちづくり館）	市民局	地域施策課	(1) (2)	図書室が、地域で、大人も子どもも気軽に読書を楽しめる場所となるよう環境を整える。	「おはなし会」「子育て・親育ち講座」気軽に子どもが図書室を利用できるよう工夫をすとともに、施設の特徴を生かした様々な分野の子ども向け図書の収集を進め、子どもの図書活動を推進する。	「おはなし会」（通年） 人権のまちづくり館にて、中学校ボランティア部が中心となり、乳幼児から保護者を対象に絵本の読み聞かせ等を実施した。（10回実施、合計889人参加）  「子育て・親育ち講座」（通年） 人権のまちづくり館にて、外部講師による絵本の読み聞かせ等を実施し、親子で絵本に親しめる機会を提供した。（12回実施、合計170人参加）	・「おはなし会」「子育て・親育ち講座」（通年） →乳幼児から保護者を対象に、絵本の読み聞かせ等を実施する。  ・さまざまな分野の子ども向け図書を収集し、本の貸出等を行い、子どもの図書活動を推進する。	2	おおむね順調	
13 その他の施設における子ども読書活動の推進（男女共同参画推進センター）	市民局	事業推進課	(1)	子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会を提供する。	児童図書、児童研究資料等の収集、提供を行う。	・平成30年度は179冊の児童書を購入。 ・子ども用のテーブル1台、椅子4脚を購入 ・図鑑の使い方講座を開催（2回実施、32人参加）	児童図書、児童研究資料等の収集、提供を行う。	2	おおむね順調	
13 その他の施設における子ども読書活動の推進（科学館）	子ども未来局	青少年健全育成課	(1) (2)	ライブラリー活動をおとして大人も子どもも展示やイベントで関心をもったことを深掘りし、科学への関心を広げられる環境を作る。	・科学等に関する自由な学習の場として、科学関連を中心とした図書を集積したシステムを設置し、開架式のライブラリーとして気軽に資料の閲覧・貸出を行う。 ・科学関連の児童図書の特集や、子ども向けの読み聞かせイベント等を行う。	・随時更新 連想検索エンジン「GETAssoc」を設置 サイエンスナビ ※コンテンツ：小学館『図鑑NEOシリーズ』全22巻、『Newton』ムック本200冊、『ナショナルジオグラフィック日本語版』近刊50冊電子書籍『青空文庫』15,200点。  ・H30①4.14②6.16③7.7④8.18⑤9.22⑥10.20⑦11.17⑧12.15 おはなし会開催 サイエンスナビ 参加人数①45人②15人③28人④20人⑤25人⑥20人⑦13人⑧17人  ・H30.8.3～9 企画展「絵本とサイエンス！」開催 TNCアナウンサーによる科学絵本おはなしイベントやドームを活用したワークショップなどを実施 参加人数10,744人  ・H30①4.14②5.12 恐竜絵本おはなしとミニ工作会 サイエンスナビ 参加人数①45人②40人	・サイエンスナビにて連想検索エンジン「GETAssoc」内、『ナショナルジオグラフィック日本語版』を随時更新 ※コンテンツ：小学館『図鑑NEOシリーズ』全22巻、『Newton』ムック本200冊、『ナショナルジオグラフィック日本語版』近刊76冊電子書籍『青空文庫』15,200点。 ・サイエンスナビシステムと併用できるように、小学館『図鑑NEOシリーズ』11冊購入（海洋文庫） ・月1回のおはなし会実施（サポーターとの協働） ・7月6日理科読を目的としたおはなし会実施（継続は未定） ・7月13日（土）～8月25日（日）「ぶっとんだ生き物展」にあわせてサイエンスナビ内で「生き物」をテーマにした書棚作成・書籍を見ながらぬりえの実施 ・企画展、特別展に合わせたメイン書棚の見せ方、またサブの書棚での情報展示を随時行い、利用者に情報発信する	1	順調	

2. 学校における読書活動の推進

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④平成30年度実施状況及び実績等	⑤令和元年度の具体的取組内容	⑥計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑦備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課							
学校図書館の環境整備の充実及び活用の促進【重点】	14 学校図書館の活性化（小中高） 《新規》	教育委員会	学校指導課	(1)	学校図書館の活用モデルとなる「学校図書館全体計画」を提示し、学校図書館活性化に向け、各学校が学校長の方針のもと、司書教諭を中心として、組織的に学校図書館運営することができる体制をつくる。	学校司書研修会や学校図書館担当者連絡会において、学校図書館ガイドラインや学校図書館全体計画の作成要領等を周知し、計画に基づく学校図書館運営を図る。	8月21日に学校図書館担当者連絡会を行い、学校図書館ガイドラインを周知した。また、福岡市立の全小・中学校で学校図書館全体計画を作成し、計画的な学校図書館の運営を図った。	5月31日までに、各学校で「学校図書館教育全体計画」を作成し、計画に沿って、各学校での取組を推進する。 8月22日、学校図書館担当者連絡会を行い、司書教諭と学校司書の連携と学校図書館の活用を促す。	2 おおむね順調	
	15 図書適正な整備	教育委員会	学校指導課	(1)	学校図書館図書標準100%を目指す。	学校図書館の蔵書管理の仕方について、各学校へ周知徹底し、学校図書館図書標準100%を目指す。	8月21日の学校図書館担当者連絡会等で蔵書管理の仕方について周知した。また、6月に蔵書冊数調査を行い、学校図書館図書標準100%が達成されていない学校は個別に指導した。	6月下旬～7月初旬に、蔵書冊数調査を行い、学校図書館図書標準100%を達成していない学校については、個別に指導する。	2 おおむね順調	
		教育委員会	学務支援課	(1)						
読の子書実ど活動態をの踏まえた推進	16 学校教育における読書活動の実態把握と効果的な学校図書館活用の推進（小中高） 《新規》	教育委員会	研修・学校指導課	(1) (4)	朝読書の取組や調べ学習等、読書活動や利用状況の実態を把握し、図書館を活用した教育の充実を図る。	学校図書館の運営状況、子どもの時間の使い方、メディアと読書の関係等について調査を実施。調査の結果を踏まえ、子ども読書活動推進のための施策の検討を行う。	8月21日の学校図書館担当者連絡会で学校図書館の効果的な活用の事例を紹介した。また、1月に学校図書館の充実に向けた司書教諭等のかかわりについての調査を実施し、それぞれの学校での活用の実態を把握し、学校図書館の効果的な活用を図った。	8月22日、学校図書館担当者連絡会で、学校図書館を使った授業実践の発表を行う。 また、学校図書館教育関係の通知文に、学校図書館の活用を促す文言を、随時加える。 実態を把握するため、1月にアンケート調査を実施し、集計・分析を行う。	2 おおむね順調	
子ども読書活動に関わる人材の活用と連携	17 学校司書の効果検証	教育委員会	学校指導課	(1) (3)	現在の配置体制における活用方法と連携の在り方について効果と課題を検証し、今後の読書活動の推進に活かす。	読み上げ冊数調査や司書教諭の関わりについての調査を行い、学校司書配置校における効果と課題を検証し、今後の配置体制の検討を行う。	11月の読書量調査や1月の学校図書館の充実に向けた司書教諭等のかかわりについての調査を行った。小学校では、おおむね読書量が増えているが、中学校では、伸びが見られず、全国平均を下回る状況が続いている。	学校司書自主研修会に参加したり、学校訪問を行うなど、学校司書配置の実態調査を行うとともに、11月に読書量調査を行い、昨年度との比較を行う。	2 おおむね順調	
	18 総合図書館との連携による人材育成	教育委員会	指導校	(3)	総合図書館と連携し、小学生読書リーダーを養成するとともに、読書リーダーが学校で活躍できるよう支援する。	小学生読書リーダー養成講座を実施するとともに、読書リーダーの活動状況を調査し、各校へ情報提供に努める。	6月に3回実施。71校、231人が参加。読書リーダー活動状況を調査。司書教諭連絡会等で情報共有する。	小学生読書リーダー養成講座を6月15日、22日、7月5日の3回実施し、各小学校での読書リーダーの活動を促す。	1 順調	
	19 読書活動推進を図る研修の充実	教育委員会	指導校	(3)	研修内容を充実し、読書活動に携わる教員の育成を図る。	学校司書研修会や学校図書館担当者連絡会において、学校図書館運営に関する情報や、各校の取組状況等を提供する。	学校司書研修会4回実施（4月、6月、8月、1月）、8月に学校図書館担当者連絡会、5月に司書教諭連絡会をそれぞれ1回実施し、学校図書館運営に関する情報や各校の取り組み状況等を提供した。	8月22日、学校図書館担当者連絡会を実施し、学校図書館教育に関する情報の共有を図る。	2 おおむね順調	
		教育委員会	研修・研究課	(3)	研修講座における研修内容の充実	「研修講座」平成17年度、「本との出会いが楽しくなる読書活動」研修講座を開始して以来、学校での実践や学校図書館での実践に学ぶ研修講座を毎年開催しており、今後も継続実施する。	H30.8.3 研修講座「読書活動」開催 総合図書館会議室 参加人数31名 大学教授による講話と参加型演習 学校図書館支援センターと連携し、小・中の教員が参加 満足度100%	R1.8.2 研修講座「読書活動」開催予定 総合図書館会議室 元大学教授による講話と参加型演習 学校図書館支援センターと連携	2 おおむね順調	
20 子どもの読書活動推進に関する情報提供	教育委員会	研修・指導課	(3)	図書館教育・読書活動推進に係る情報提供を継続して実施する。	学校司書研修会や学校図書館担当者連絡会において、文科省通知をはじめとする様々な情報を提供する。	学校司書研修会4回実施（4月、6月、8月、1月）、8月に学校図書館担当者連絡会、5月に司書教諭連絡会をそれぞれ1回実施し、学校図書館ガイドラインや文部科学省通知をはじめとする様々な情報を提供した。	司書教諭や学校司書に対して、具体的な情報の提供を図る。 「学校図書館活用の手引き」の改訂に取りかかり、年度内の完成を目指す。	2 おおむね順調		
点の障 読が 書い 等活 動の ある 支 援子 ども	21 特別支援学校など多様な学びの場における読書活動及び環境の充実	教育委員会	発達教育	(1) (3)	障がいのある児童生徒のニーズに合った、特別支援教育における読書環境の充実を行う。	「特別支援教育における読書活動の推進」 ・特別支援学校での読み聞かせボランティアの活動を推進する。 ・特別支援学校における読書活動にかかわる教材教具を充実する。 ・特別支援学校の図書室や視聴覚室など読書環境を充実する。	教材教具の充実について（デジジー教科書・デジジー図書の普及） ・デジジー教科書については、教育委員会による一括利用申請を行い、利用方法等を各学校へ周知した。小学校15校、中学校4校、特別支援学校1校から利用申請があった。（H31年1月17日時点） ・H30.6.15 特別支援学校校長会で、デジジー図書の作成団体による貸し出しについて、及び学校図書館支援センターの取り組みについて周知した。 ・タブレット端末における、デジジー図書の再生アプリ等の有料アプリやデータの購入方法について関係課と協議中	・教材教具の方法の購入確立及び周知 デジジー教科書について教育委員会一括利用申請を行い、各学校に周知した。 関係課とアプリやデータの購入方法を協議 ・学校図書館支援センターの取り組みについて特別支援学校校長会で紹介する。（令和元年6月21日）	2 おおむね順調	

3. 図書館を中心とした読書活動の推進

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④平成30年度実施状況及び実績等	⑤令和元年度の具体的取組内容	⑥計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑦備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課							
子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供	22 児童図書、児童研究資料等の収集、提供	教育委員会	図書サービス課	(1) (2)	・子どもが読書の楽しみを発見し、読書に親しむことができるような資料の収集に努め、提供を行う。 ・国内外の児童図書や児童文化の研究及び子どもの読書活動に係る資料、国際理解を深めるための世界の絵本の収集に努め、提供を行う。	・子どもが発達段階に応じ、読書に親しむことができるように児童図書等の収集を体系的、計画的に行い、提供する。 ・国内外の児童文化の研究のための資料や子どもの読書活動に役立つ資料の収集を計画的に行い、提供する。 ・世界の絵本については、広く世界各国の絵本の収集に努める。	・児童図書の平成30年度末時点での蔵書冊数は、総合図書館と分館で約456,000冊となっており、引き続き収集を行い、提供に努めている。 ・子どもの読書や児童文化を研究するための児童研究資料は、総合図書館で約30,000冊となっている。 ・世界の絵本については、平成30年度末時点で69カ国、約6,500冊を収蔵している。引き続き世界各国の絵本の収集に努める。	・児童図書等については、子どもの発達段階に応じた様々な興味及び分野のバランスを考慮し収集、提供する。 ・子どもの読書や児童文化を研究するための児童研究資料について、引き続き収集、提供する。 ・広く世界各国の絵本の収集に努める。	2	おおむね順調
	23 子どもと本をつなぐ機会の充実	教育委員会	図書サービス課	(1) (2)	図書館の利用を通じて、より多くの子どもが本につながるような機会の充実を図る。	・子どもが読書の楽しさを知り、読書のきっかけとなり、継続的に読書に親しむことにつながるように、ブックスタートフォローアップの事業やおはなし会等を行う。 ・「図書館の達人講座」や図書館見学、職場体験等を通じ、読書や情報の拠点としての図書館について、子どもの関心を高め、図書館の利用につながる機会の充実を図る。	・ブックスタートのフォローアップ事業として乳幼児向けおはなし会を行い、平成30年度の実績は、開催回数217回、参加人数約7,000人となっている。 ・夏休みの自由研究にも役立つ、図書館を利用した調べ学習の方法や図書館利用に関する基本的知識を習得してもらうため、小学4～6年生を対象に、「夏休み図書館の達人講座」を平成30年8月2日、3日に開催した。参加者数は22人。	・乳幼児向けおはなし会を継続して実施する。また、乳幼児向けの絵本の収集、提供に努める。 ・令和元年7月26日、8月1日に「夏休み図書館の達人講座」を開催する。また、見学や職場体験を受け入れ、こども図書館について興味や知識を深めてもらう機会とする。	2	おおむね順調
	24 図書館からの情報提供等の充実	教育委員会	図書サービス課	(1) (2)	資料や子どもと本、子どもの読書、図書館の利用に関する情報等の充実を図り、積極的に提供する。	・子どもの本や読書についての情報紙「こどもとしゃかんニュース」、ホームページで新刊紹介をする。 ・図書館の利用案内等について、提供内容や方法を随時検討し、充実させる。 ・各年齢に応じたおすすめの本のリスト「モデル児童図書リスト」を作成し、広く配布する。 ・子どもからのレファレンスや保護者からの読書相談について、的確に対応し、子どもの本に対する興味をより深めるようにする。	・「こどもとしゃかんニュース」については、平成30年度で、発行回数6回、各号約1,500部を発行し、配付した。また、ホームページにおいて、毎月様々な分野の新刊の紹介を行っている。 ・こども図書館の利用案内について、適宜修正し、こども図書館内に設置している。また、「夏休み図書館の達人講座」の際に資料として配布した。 ・平成30年度「モデル児童図書リスト」について、合計約4,500部配布した。また、平成31年度についても作成準備を行った。 ・読書等の相談について、こども図書館のレファレンス件数は、平成30年度で約9,300件となっている。	・「こどもとしゃかんニュース」（A3版、年6回発行）を作成、発行し、児童向けに様々な分野の図書の紹介や、図書館からの情報の提供を行う。また、総合図書館の新刊を毎月ホームページにて紹介する。 ・平成31年度モデル児童図書リストを配布するとともに、令和2年度モデル児童図書リストを作成、発行する。 ・レファレンス、読書相談においては、子どもの読書への興味や関心をくみ取り、適切に対応する。	2	おおむね順調
	25 障がい等のある子どもたちの支援の推進	教育委員会	図書サービス課	(1) (2)	障がいのある子どもたちにも本と出会う機会づくりを行い、読書の楽しさを実感してもらう。	・こども図書館や分館において、障がいのある子どもに対応する児童図書等の資料の充実を図る。 ・特別支援学校や障がい者施設等に対して、団体貸出や郵送貸出等の制度について、広く周知に努め、利用を促進する。 ・学校図書館支援センターにおいて、特別支援学校への支援を進める。	・子ども向け大活字本約600冊、布の絵本約200点を所蔵している。今後も収集に努める。 ・団体貸出登録をしている特別支援学校や障がい者施設等、郵送貸出登録をしている個人に対して貸出しを行った。 ・学校図書館支援センターにおいて、要請のあった特別支援学校に対して訪問を行った。また、高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を配布した。	・引き続き大活字本や布の絵本等の資料の充実を図る。 ・障がいのため来館が困難な利用者に対し、郵送貸出を行っている。（大人・子供共通の制度） ・団体貸出登録をしている特別支援学校や障がい者施設等に対して貸出しを行う。 ・学校図書館支援センターにおいて、各特別支援学校の要請に基づき支援を行う。また、高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を配布予定。	2	おおむね順調
活ヤングアダルト世代に対する読書	26 ヤングアダルト等への読書サービスの充実	教育委員会	こども未来局	(1) (2)	点字図書館だよりを配布し、点字図書館を周知することで、利用推進を図る。	「視覚障がいのあるこどもへの点字図書館の周知」 ・視覚障がいのある子どもと保護者などへ点字図書館の周知を図る。 ・子ども向け点字図書、録音図書、CD図書資料などの収集の充実を図る。	「視覚障がいのあるこどもへの点字図書館の周知」 ・視覚障がいのある子どもと保護者などへ点字図書館の周知を図っている。 ・子ども向け点字図書、録音図書、CD図書資料などの収集の充実を図っている。	「視覚障がいのあるこどもへの点字図書館の周知」 ・視覚障がいのある子どもと保護者などへ点字図書館の周知を図っている。 ・子ども向け点字図書、録音図書、CD図書資料などの収集の充実を図っている。	2	おおむね順調
			図書サービス課		読書離れの傾向が見られるヤングアダルト層（中・高校生）等に対して、読書や図書館への興味・関心を喚起するとともに、図書館の利用を促進する。	・総合図書館及び分館にヤングアダルトコーナーを設置し、推薦図書の展示等を行うとともに、ヤングアダルト向けの推薦図書に関するリストを作成・配布することで、読書普及のための広報を実施する。 ・小・中学生に対し、学校図書館支援センターや各学校と連携し、図書館貸出登録を促進する施策を実施する。 ・市立高校に対して、学習支援や今後の支援方法を探ることを目的に、図書館資料の貸出を実施する。	・引き続きヤングアダルトコーナーの充実、ヤングアダルト向けの推薦図書に関するリストの作成・配布に努めている。 ・読書リーダー養成講座等のイベントや図書館見学などの機会をとらえて、図書館貸出登録の推進に努めている。 ・ビブリオバトルなど、中高生の読書活動推進につながるイベントを実施している。 ・市立高校に対しては、一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を試行的に継続している（平成30年度貸出冊数75冊）。	・引き続きヤングアダルトコーナーの充実、ヤングアダルト向けの推薦図書に関するリストの作成・配布に努めている。 ・読書リーダー養成講座等のイベントや図書館見学などの機会をとらえて、図書館貸出登録の推進に努めている。 ・ビブリオバトルなど、中高生の読書活動推進につながるイベントを実施している。 ・市立高校に対しては、一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を試行的に継続している。本格実施は、利用状況やアンケート等で検討する。	2	おおむね順調 YAを勉強してみる会（読書相談員有志）で「図書館で『TRPG』をやってみる」を主催（総合図書館後援）。

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④平成30年度実施状況及び実績等	⑤令和元年度の具体的取組内容	⑥計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑦備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課							
学校図書館の支援【重点】	27 学校教育における読書活動の推進支援	教育委員会	図書サービス課	(3)	児童の主体的・意欲的な読書活動を推進し、豊かな心の育成と学力向上を図る。	「小学生読書リーダー養成講座」小学5～6年生を対象に小学生読書リーダー養成講座を実施する。	平成30年度小学生読書リーダー養成講座を6月9日、16日及び23日に実施した。 認定者231名（71校）	小学生読書リーダー養成講座を6月15日、22日及び7月6日に実施予定	2 おおむね順調	
	28 学校図書館との連携強化	教育委員会	図書サービス課	(1) (5)	学校の授業や子どもたちの読書活動において、子どもたちが有効な情報を収集し、効果的に活用する能力をはぐくむとともに、子どもたちが本に触れ、本に親しむ機会を創出することを目的として、学校図書館への支援を行う。	①学校図書館への団体貸出の拡充 ・団体貸出による読書活動用図書の貸出 総合図書館団体貸出で所蔵する図書を、学校図書館や学級文庫に、1回につき1,000冊以内、4ヶ月の範囲内で貸し出す。また、利用促進のための広報を行うとともに、利用しやすい貸出方法などを検討し、学校図書館等への貸出の充実を努める。 ・学校図書館支援センターによる学習支援用図書の貸出 調べ学習など授業で活用する学習支援用図書（小学校用・中学校用）を貸し出すとともに、順次学習支援用図書の充実を努める。 ②学校図書館の活用・利用促進支援 ・学校図書館支援センターで、学校図書館を効果的に運営できるように学校訪問や運営相談を実施し、学校図書館の活用や利用促進に関するアドバイスする。	①学校関係の団体貸出登録数は78校、貸出冊数は57,132冊となっている。 また、学習支援用図書の貸出の登録数は162校で、貸出冊数は6,138冊となっている。 ②支援実績 ・学校図書館支援センターだよりの発行 3回 ・相談件数 136回 ・学校訪問件数 50回（45校）	① ・引き続き貸し出すとともに利用促進のための広報を行い、利用しやすい貸出方法などを検討し、学校図書館等への貸出の充実を努める。 ・引き続き、授業等で活用する学習支援用図書を学校の要望に応じて貸し出す。 ② ・引き続き学校訪問や運営相談を実施し、学校図書館の活用や利用促進に関するアドバイス（助言）を行う。	2 おおむね順調	
地域の読書活動の支援	29 公民館や地域文庫活動への支援	教育委員会	図書サービス課	(2) (3) (5)	家庭・地域における子どもの読書活動を活発化することを目的として、身近な図書館としての地域文庫活動、子どもの読書に関するボランティア活動の支援を行う。	「地域文庫活動の支援」 〈団体貸出の拡充〉現在、団体貸出の利用がない公民館等への情報提供や、地域文庫活動に関する相談対応等の支援を行うことにより、新規登録団体を増やし団体貸出の拡大を図る。 〈読書活動ボランティア講座の開催〉地域における読書活動のリーダーである読書ボランティアの育成と資質向上を目的として、読書活動ボランティア講座を開催する。また、「地域文庫マップ」を作成して講座終了者へ配布し、地域文庫活動に関する情報提供を行う。 〈地域文庫交流会の開催〉地域のニーズを把握し、実情に合った支援が行えるよう教育委員会生涯学習課と連携しながら、地域文庫ボランティア同士の情報交換とネットワークの構築、活動の活性化を図るために地域文庫交流会を開催する。	・平成30年12月末現在で登録団体数は396団体、うち地域文庫は84団体となっている。また、配本冊数は平成30年4月～平成31年3月で212,506冊である。 ・読書活動ボランティア養成講座の開催 「読み聞かせコース」を平成30年5月～6月に実施し、延べ330名が参加した。 「ストーリーテリングコース」を平成30年9月～平成31年2月に実施し、延べ161名が参加した。 また、「地域文庫マップ」を作成し、講座受講者へ配布した。 ・地域文庫交流会の開催 平成31年2月6日に実施し、23団体 37名が参加した。	・令和元年5月末現在、登録団体数は405団体、うち地域文庫は84団体となっている。また、配本冊数は平成31年4月～令和元年5月で40,382冊である。 ・読書活動ボランティア講座の開催 「読み聞かせコース」を令和元年5月～6月に実施予定 「ストーリーテリングコース」を令和元年9月～令和2年2月に実施予定。 また、「地域文庫マップ」を更新し、講座終了者へ配布予定。 ・地域文庫交流会を実施予定。	2 おおむね順調	

4. 家庭・地域・学校等の連携の推進

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④平成30年度実施状況及び実績等	⑤令和元年度の具体的取組内容	⑥計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑦備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課							
読書（本の魅力の発信【重点】	30 福岡市子ども読書フォーラムの充実	教育委員会	生涯学習課	(2) (3) (5)	「福岡市子どもと本の日」の啓発イベントとしての「子ども読書フォーラム」をより身近な場所で開催することで、子どもの読書活動の重要性を認識してもらい啓発の機会とし、各家庭や地域、学校で子どもと大人に読書活動の場を提供する。	・市民の読書団体の活動の様子の紹介、学校などでの読書活動への取り組みの報告、読み聞かせを実施する。 ・子どもと保護者、市民とボランティア団体等子ども読書関係者が集まり、相互交流や情報交換の重要な場となるため、市民全体の取組みとなるように広く参加団体を募る。	読み聞かせボランティア団体や市立学校、書店商業組合など10団体と読書フォーラムを開催。 H30.12.8 アミカス（男女共同参画センター）2～4階各室 来場者人数 約520人	引き続き、読み聞かせボランティア団体や市立学校、書店商業組合など関係団体と読書フォーラムを11月30日アミカスにて開催予定。	1 順調	乳幼児から高校生までの子どもが一同に会することで、世代間の交流や読書活動の発達状況を実体験できる。高校生によるビブリオバトル(新規)は中学・高校生向け事業として好評だった。
	31 読書（本の魅力に触れ合うきっかけづくり） 《新規》	教育委員会	生涯学習課	(3) (4) (5)	本の魅力を知る人から情報を発信することで、子どもや保護者に本の魅力を伝える。	ホームページやSNS等を活用した情報発信や、コンテストの実施などによる本の魅力発信を行う。	教育委員会ホームページで毎月23日の「福岡市子どもと本の日」に本の日通信及びおすすめ本の紹介を掲載。	引き続き、教育委員会ホームページで毎月、本の日通信やおすすめ本の紹介を掲載するとともに、SNSによる情報発信事例の紹介等に取り組む。	2 おおむね順調	
発達段階に応じた子どもと本とメディアのよい関係づくり【重点】	32 メディアリテラシー教育の推進	教育委員会	生涯学習課	(4)	子どもがメディアを適切に使いこなすことができるよう、メディアリテラシー教育を推進する。	保護者や子育て関係者等に、ワークショップなどを通じて、メディアや家庭でのルールづくりに関する情報を提供していく。	中学校の入学説明会で保護者向けに啓発リーフレットを配布したり、学校やPTAの要望に応じて保護者の学習会へ講師を派遣するなど、メディア利用に関する啓発を実施。 ・啓発リーフレット 14000部配布 ・学習会講師派遣 小学校1校 26人参加 中学校3校 595人参加	引き続き、中学校の入学説明会で保護者向けに啓発リーフレットを配布したり、学校やPTAの要望に応じて保護者の学習会へ講師を派遣するなど、メディア利用に関する啓発を実施。	1 順調	
	33 読書活動とメディアの関係づくり 《新規》	教育委員会	研図学生 修書校 生涯学 指学 サ指学 研導 研導 課課 課課	(4)	子どもの発達段階と、その時期での適切なメディア使用を考慮し、読書とメディアのよい関係づくりを目指す。	専門家等の意見を聞きながら、子どもの発達段階と、適切なメディア使用を考慮した読書活動を検討し推進する。	有識者や関係部署と検討会議を3回開催。大学教授等の意見を聞きながら、子どもの発達段階と適切なメディア使用を考慮した読書啓発について検討、読み上げ冊数が全国平均よりも少ない中学生への読書啓発のため、「中学生へのおすすめ本生徒用」を作成、新1年生に配布。	昨年度の検討会議の意見を踏まえ、子どもの発達段階と適切なメディア使用を考慮した小学高学年以上の児童生徒への読書啓発について検討する。	2 おおむね順調	
		こども未来局	指導監査課	(4)	「福岡市子どもと本の日」の取り組みが保護者に広く認知され、読み聞かせが意識づけられる。家庭においてメディアとのよい関係づくりが意識されるよう支援する。	・保護者会やクラス懇談会、育児講座等で、各年齢に応じた絵本の取り組みや家庭における読み聞かせの重要性、メディアの子どもへの影響等について保護者に伝えていく。 ・「絵本の日」や「ノーメディアの日」を設ける等、意識できる工夫を行う。	・毎月23日をノーメディアデーとし、親子での絵本の読み聞かせを推奨したり、ノーメディアデーの前日にノーメディアカードを配布して取り組みを強化した。また、ノーメディアデーの日に合わせて、絵本の読み聞かせ会を実施した。 ・小学校、中学校と連携をとっておたより等で啓発を行った。 ・懇談会や保育参観、研修会等で各年齢に応じた絵本の取り組みや家庭における読み聞かせの重要性、メディアの子どもへの影響等について保護者に伝えた。 ・職員・保護者合同研修において講師を招き、乳幼児期の成長発達にかかわるメディアとの上手な付き合い方について学んだ。	※昨年度と同様の取り組みを実施予定。 ・毎月23日をノーメディアデーとし、親子での絵本の読み聞かせを推奨したり、ノーメディアデーの前日にノーメディアカードを配布して取り組みを強化する。また、ノーメディアデーの日に合わせて、絵本の読み聞かせ会を実施。保護者自身にも読み聞かせの心地よさを体験してもらおう。 ・小学校、中学校と連携をとっておたより等で啓発を行う。 ・懇談会や保育参観、研修会等で各年齢に応じた絵本の取り組みや家庭における読み聞かせの重要性、メディアの子どもへの影響等について保護者に伝える。 ・職員・保護者合同研修において講師を招き、乳幼児期の成長発達にかかわるメディアとの上手な付き合い方について学ぶ。	2 おおむね順調	
34 「福岡市子どもと本の日」と「共読」の推進	教育委員会	生涯学習課	(4) (5)	「福岡市子どもと本の日」(毎月23日)が市民に広く認知され、この日を中心に大人と子どもが共に「共読(とんどく)」などの読書活動を行い、また、子どもの読書のために自主的な市民活動が開催されるよう啓発していく。	・「福岡市子どもと本の日」をきっかけにして、子どもが保護者とともに読書に親しむなど、市民への啓発を行う。 ・「共読(とんどく)」などの推進することで、家庭や地域などあらゆる場所での読書活動が実施されるよう啓発し、書店や出版業界を始め、企業と共働するなど、連携を進めていく。	・毎月23日に「福岡市子どもと本の日通信」により、学校図書館や講座、研修会等を紹介し、子ども読書活動推進の参考とされるよう、学校向けの掲示板に配信。 ・映画配給会社と共働して、「共読」や「福岡市子どもと本の日」について啓発するポスターを作成し、市PTA協議会と連名で学校や公共施設に配布(3回実施)	継続実施 ・毎月23日に「福岡市子どもと本の日通信」により、学校図書館や講座、研修会等を紹介し、子ども読書活動推進の参考とされるよう、学校向けの掲示板に配信。 ・映画配給会社と共働して、「共読」や「福岡市子どもと本の日」について啓発するポスターを作成し、市PTA協議会と連名で学校や公共施設に配布。	1 順調		

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④平成30年度実施状況及び実績等	⑤令和元年度の具体的取組内容	⑥計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑦備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課							
家庭・地域・学校・図書館等が連携し課題解決を図るための体制の強化	35 子ども読書関係団体との連携による子ども読書の推進	教育委員会	生涯学習課	(5)	福岡市子ども読書活動推進計画(第3次)の進捗状況を把握し円滑な進捗に向けた検討を行う。	「福岡市子ども読書活動推進会議」図書関係者等による同会議を設置し、年2回実施する。同会議において、計画の進捗状況を把握するとともに、子どもの読書活動推進のために課題解決に努める。	福岡市子ども読書活動推進会議を実施し、計画の進捗状況を把握するとともに、子ども読書活動推進のための課題等について協議 第1回 H30.7.26 協議題「子ども読書活動に関する実態調査について」 第2回 H31.2.8 協議題「子どもの読書量に関する課題の取り組みについて」	引き続き、福岡市子ども読書活動推進会議を実施し、計画の進捗状況を把握するとともに、子ども読書活動推進のための課題等について協議 第1回 R1.7.16 協議題「第2次福岡市教育振興基本計画施策8 読書活動の推進について」 第2回 開催予定	1 順調	
	36 PTAとの連携による家庭での読書活動の推進	教育委員会	生涯学習課	(1) (5)	※7「家庭における読み聞かせの推進」に同じ PTAと連携して講座や研修会を実施し、家庭でも子どもが身近に本に親しむ環境づくりを支援する。	※7「家庭における読み聞かせの推進」に同じ 福岡市PTA協議会と共催し、家庭での読み聞かせの重要性や楽しさを学ぶ講座を実施する。	家庭での読み聞かせの重要性や楽しさを伝えるために、福岡市PTA協議会と共催し、小中学生の保護者を対象に家庭で楽しむ読み聞かせ講座を実施。 H30.10～11月計4回、146名参加	引き続き、福岡市PTA協議会と共催で、小中学生の保護者を対象に家庭で楽しむ読み聞かせ講座を10～11月に計4回実施予定。	1 順調	
	37 保育所における関係機関・地域ボランティアとの連携の推進	こども未来局	指導監査課	(5)	・公民館や子育てサークル等において地域ボランティアとの連携を図る。 ・地域の未就園児親子に、絵本の楽しさや親子触れ合いの大切さを伝える。	・子育てサークルやサロン等に参加し、読み聞かせを実施する。 ・保育所内外での読み聞かせ(読書活動)の充実に向け、図書館や公民館等の関係機関や地域ボランティアと連携を図る。	・公民館や子どもプラザ、人権まちづくり館育児支援、子育てサークルやサロン、子育てイベント等の中で、絵本の読み聞かせや展示を行い、絵本の楽しさや重要性を知らせた。 ・人権まちづくり館の図書において、乳幼児の絵本の選定について助言した。 ・関係機関の担当者との打ち合わせ等連携を図り、参加者の年齢や興味に応じた具体的な計画を立案し、実施した。	※昨年度と同様の取り組みを実施。 ・公民館や子どもプラザ、人権まちづくり館育児支援、子育てサークルやサロン、子育てイベント等の中で、絵本の読み聞かせや展示を行い、絵本の楽しさや重要性を伝えたり、助言等を行う。 ・関係機関の担当者との打ち合わせ等連携を図り、参加者の年齢や興味に応じた具体的な計画を立案し、実施予定。	2 おおむね順調	
	38 障がい児通所支援施設等における関係機関・地域ボランティアとの連携による取組の充実	こども未来局	こども発達支援課	(2) (5)	ボランティア団体との連携により、こども及び保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、本の世界に親しめるように環境を整える。	出版業者、点字図書館のほか、おもちゃ図書館、朗読・拡大写本などのボランティア団体との連携により、障がいのある子どもたち向けの図書の作成・充実を図り、保護者にもその活用を進める。	出版業者、点字図書館のほか、おもちゃ図書館、朗読・拡大写本などのボランティア団体との連携により、障がいのある子どもたち向けの図書の作成・充実を図り、保護者にもその活用を進めている。	「視覚障がいのあるこどもへの点字図書館の周知」 ・視覚障がいのある子どもと保護者などへ点字図書館の周知を図っている。 ・子ども向け点字図書、録音図書、CD図書資料などの収集の充実を図っている。	2 おおむね順調	